

日本天文学会1972年春季年会

プログラム

日 時 5月22日(月)~5月25日(木) 午前9時30分~午後5時

場 所 東京都文京区本郷 東京大学理学部2号館講堂

午前	9時	10	11	12	午後	1	2	3	4	5	講演番号
5月22日 (月)	位置・時間			理 事 会	位置 時間	力学	太陽系				1~35
5月23日 (火)	太 陽			評議員会	太 陽	恒 星		懇親会			36~67
5月24日 (水)	恒 星	内部構造			内部 構造	X 線 パルサー	銀 河 系	総 会			68~96
5月25日 (木)	銀河系				銀河系	宇 宙					97~123
	9	10	11	12	1	2	3	4	5		

- ☆ 講演者は時間厳守に御協力をお願いします。講演時間は7分です。
- ☆ スライドには、スライドを手にとって透視した時に正しい上下左右関係となるように保持して、その手前側上方に講演番号、氏名、映写番号を書き、下縁に5mm くらいの幅に赤線をつけて下さい。
- ☆ なるべくピラを使わないでスライドを準備して下さい。
- ☆ 会場費等の費用の一部にあてるために、出席者から参加費を徴収します。
一般200円、学生100円。
- ☆ 22日正午より理事会、23日正午より評議員会、24日午後3時30分より総会を開催致します。
- ☆ 懇親会は23日夕方、東京大学、山上会議所にて行なわれます。
- ☆ 天文教育懇談会は23日午後1時から4時まで、理学部3号館天文学教室にて。テーマは「小、中、高校教科書における天文内容の検討」。
- ☆ 学術会議報告は25日午後の講演終了後に。

第 1 日 5 月 22 日 (月)

〔午前〕 (9 時 30 分より)

1. 須川 力, 菊地直吉 (緯度観測所): 天文屈折率の指数関数表示 (I)
2. 後藤常男 (緯度観測所): 位置天文観測と中間気象的大気構造の関係
3. 菊地直吉 (緯度観測所): 極運動と高層大気変動
4. 後藤常男, 菊地直吉 (緯度観測所): 時系列的な眼視天頂儀と浮游天頂儀の観測比較
5. 横山絃一 (緯度観測所): 水沢アストロラープの系統誤差
6. 阿部 茂, 高木重次 (緯度観測所): 天頂儀のマイクロメーター常数
7. 藤原 清, 飯島重孝 (東京天文台): 簡易型周波数オフセッターの位相安定度
8. 吉成正雄, 藤原 清 (東京天文台): パルスモーターの PZT への応用
9. 山崎利孝, 中嶋浩一 (東京天文台): 写真乾板の膜面の変形
10. 中嶋浩一, 飯島重孝 (東京天文台): PZT 観測の新整約法
11. 三谷哲康 (日本天文研究会): 地球の極運動と重力波の関係について
12. 岡崎清市 (東京天文台): 最近における地球自転速度変動と太陽活動の相関について
13. 関口直甫 (東京天文台): 地球自転速度変化と 1930 年付近の極運動異常との関係
14. 久保良雄 (水路部): コアとマントルの間の摩擦と極運動

〔午後〕 (1 時 30 分より)

15. 高木重次 (緯度観測所): 経緯度観測による極運動決定の新しい手法
16. 須川 力, 石井 久 (緯度観測所): Z 項の周期分析
17. 若生康二郎, 佐藤弘一, 菊池岩夫 (緯度観測所): 極運動の補整
18. 弓 滋, 石井 久 (緯度観測所): 北極座標最確値の決定
19. 安田春雄 (東京天文台): FK4 の赤経系について
20. 松波直幸, 中嶋浩一 (東京天文台): VLB 観測における誤差のモデル計算
21. 斎藤成文, 富田弘一郎*, 高須芳雄** (東大生研, *東京天文台, **日本光学): 科学衛星光学追跡装置の性能概報
22. 木下 宙 (東京天文台): 有限 2 体問題の永年摂動
23. 堀源一郎 (東大理): 有限 2 体問題における 2 次調和項
24. 湯浅 学 (東大理): 3 体問題の数値例 (角運動量を入れた場合)
25. 古在由秀 (東京天文台): 人工衛星の運動を表わす座標系
26. 堀源一郎 (東大理): 回転する惑星大気の長年摂動
27. 斎藤馨児, 富田弘一郎 (東京天文台): ジャコビニ流星群の特性について
28. 関口直甫 (東京天文台): 月面反射光の測光・偏光観測
29. 近田広義, 赤羽賢司* (東大理, *東京天文台): ミリ波における月食の観測 (I)
30. 岩崎恭輔 (花山天文台): 金星の高分散スペクトル
31. 畑中至純, 佐藤英男 (東京天文台): 土星の衛星の位置観測
32. 渡辺 堯, 柿沼隆清 (名大空電研): 惑星間空間シンチレーションの解析
33. 渡辺 堯, 柿沼隆清 (名大空電研): シンチレーションによる Solar wind stream の観測
34. 前田耕一郎, 柿沼隆清*, 渡辺 堯**, 川尻轟大**, 尾嶋武之**, 河野宣之**, 田中 浩** (花山天文台, *名大空電研, **電波研鹿島): 太陽近傍における惑星間空間シンチレーション
35. 小島正宜, 鷺見治一, 柿沼隆清, 渡辺 堯 (名大空電研): 太陽風による電波星シンチレーションの三点観測

第 2 日 5 月 23 日 (火)

〔午前〕 (9 時 30 分より)

36. 松丸 勝 (防衛大学校): 簡易形 VTR を利用した太陽黒点の観測 (II)

37. 斎藤国治, 東条 新 (東京天文台): 地球上の一点に固定した観測者にとって何年ごとに皆既日食を見る機会があるか?
38. 神野光男, 椿 都生夫*, 黒河宏企** (飛驒天文台, *滋賀大教育, **花山天文台): メキシコ日食におけるヘリウム・スペクトル (I) HeI D₃ 線
39. 黒河宏企, 中山公彦, 神野光男*, 椿 都生夫** (花山天文台, *飛驒天文台, **滋賀大教育): 太陽極周縁部の連続光 (メキシコ日食)
40. 久保田 諄, 暮泉 武 (花山天文台): アーチ状活動紅炎のスペクトル
41. 久保田 諄, 為永辰郎, 暮泉 武 (花山天文台): 太陽面サージの速度場
42. 船越康宏 (花山天文台): リム・フレアのスペクトル (I) バルマー線
43. 平山 淳 (東京天文台): フレアの理論 (I) 総論
44. 平山 淳 (東京天文台): フレアの理論 (II) trigger mechanism
45. 田中 済, 末元善三郎, 高田昌英 (東大理): 気球による太陽赤外スペクトルの観測 (III)
46. 末元善三郎, 西 恵三*, 東 康一*, 山口朝三* (東大理, *東京天文台): 太陽真空紫外領域の観測
47. 吉村宏和 (東大理): 太陽活動領域下部対流層の電磁流体力学的構造について
48. 海野和三郎 (東大理): 反スピキュール定理
49. 銀目信三 (名大空電研): H_α フレアと μ 波バーストとの関係について

[午後] (1時より)

50. 内藤嘉春, 高倉達雄 (東大理): マイクロ波インパルスバーストの強度分布計算
51. 中島 弘, 大木健一郎 (東京天文台): 17GHz 干渉計によるIV型バーストの観測
52. 面高俊宏 (名大理): Nov. 5, 1970 太陽バーストについて
53. 渋谷暢孝, 澤 正樹, 関口英昭 (東京天文台): 太陽電波動スペクトル観測装置
54. 甲斐敬造, 内田 豊, 渋谷暢孝, 桑原龍一郎 (東京天文台): 野辺山太陽電波観測所のデータ処理装置について
55. 甲斐敬造, 中島 弘 (東京天文台): 複雑な source structure をもつノイズストーム
56. 栗原正博 (東大理): Noise storm と対応する太陽面現象
57. 祖父江義明, 河鱈公昭, 川尻轟大*, 河野宣之* (名大理, *電波研鹿島): Tau A の直線偏波観測による Corona 中の Local structures
58. 高倉達雄, 土屋 淳*, 渋谷暢孝*, 芥川守迪** (東大理, *東京天文台, **明星電気KK): 人工衛星“しんせい”搭載の太陽電波観測装置
59. 大木健一郎, 平山智啓, 内藤嘉春* (東京天文台, *東大理): “しんせい”の太陽電波データ処理
60. 高倉達雄, 大木健一郎*, 内藤嘉春, 高柳明夫 (東大理, *東京天文台): “しんせい”によるIII型太陽電波バーストの観測
61. 寺下陽一, 福田一郎 (金沢工大): 天体データの検索システムについて
62. 石川雅章 (東大理): 新しい gf 値による δ Del の分光解析の改訂
63. 成相恭二, 中桐正夫 (東京天文台): A型特異星 HR4816 の視線速度変化
64. 定金晃三, 福田一郎* (京大理, *金沢工大): Ap 星 73 Dra の K 線の変化について
65. 平田龍幸 (岐阜大工短): Be 星の連続光エネルギー分布と輝線強度について (I)
66. 鈴木雅一, 平田龍幸* (金沢工大, *岐阜大工短): Be 星外大気における Line formation
67. 山下泰正, 乗本祐慈* (東大理, *東京天文台): 炭素星のC分類 (II)

第 3 日 5 月 24 日 (水)

[午前] (9時30分より)

68. 藤田良雄 (東大理): 炭素星における [C I] 8727 線について (II)
69. 市村喜八郎, 清水康広, 渡辺悦二, 小矢野久 (東京天文台): フレア星の光度および色指数について
70. 斎藤 衛, 佐藤英男 (東京天文台): 食連星 32 Cyg 1971 年食の測光
71. 北村正利 (東京天文台): ぎょしゃ座ゼータ星の国内協同光電観測

72. 寺内隆太郎*, 田村真一**, 早坂匡, 佐藤直宣 (*日大, **東北大, 秋田大): 12DD Lac. の変光周期の変化について
73. 下小田博一 (愛知教育大): Thermalization length と Conversion length
74. 奥田 亨 (京大理): RR Lyrae 星大気における衝撃波進行
75. 山崎初男, 大野陽朗* (北大工, *北大理): 不均質媒質中の hydromagnetic shock の安定性
76. 成田真二 (同志社大工): 輻射を伴う衝撃波の構造
77. 坂下志郎, 荒川 聰 (北大理): 輻射を伴う爆風波について
78. 柴田行男 (東北大科研): 太陽質量星の進化の計算
79. 三村 清, 柴田行男*, 内田寿一**, 須田和男 (東北大理, *東北大科研, **東北学院大工): 星の進化の自動計算における対流層の取り扱い
80. 柴田行男 (東北大科研): プロシオンへのヘリウム
81. 竹内 峯 (東北大理): 種族 I ケフェイドの質量光度関係
82. 三村 清, 柴田行男* (東北大理, *東北大科研): $5 M_{\odot}$ の星の進化

〔午後〕 (1時より)

83. 野本憲一, 杉本大一郎* (東大理, *東大教養): ニュートリノロスの存否と星の進化
84. 佐藤勝彦, 中沢 清, 池内 了, 蓬茨靈運*, 林忠四郎 (京大理, *立教大理): 超新星爆発の数値実験と中性子星の形成について
85. 浜田哲夫, 中村芳昭 (茨城大理): 強磁場における水素原子のエネルギー準位
86. 会津 晃 (立教大理): パルサーの電磁流体力学
87. 藤本光昭, 村井忠之 (名大理): パルサーの“黒点”モデル
88. 松岡 勝, 藤井正美, 宮本重徳, 西村 純, 小田 稔, 小川原嘉明, 早川幸男*, 笠原 泉*, 槇野文命*, 田中靖郎*, 畑中至純** (東大宇宙研, *名大理, **東京天文台): SCO X-1 の光と硬X線の同時観測
89. 尾崎洋二 (東大理): X線星の回転円板モデル
90. 石田蕙一, 大橋 満, 高瀬文志郎, 宮本昌典 (東京天文台): 長野県木曾地方の天体観測条件の調査結果
91. 斎藤泰通, 斎藤 衛* (岩手大教育, *東京天文台): 銀河中心での爆発による回転曲線の変形
92. 海部宣男, 井口哲夫, 加藤隆二 (東大理): 銀河中心領域の 270 pc 膨張リング
93. 宮本昌典 (東京天文台): 円板状恒星系の定常模型
94. 真鍋盛二, 宮本昌典* (東大理, *東京天文台): 銀河回転の非軸対称性
95. 青木信仰 (東京天文台): 扁平な回転対称な銀河内の速度分布関数
96. 吉沢正則 (京大理): 球対称恒星系における沈殿現象

第 4 日 5 月 25 日 (木)

〔午前〕 (9時30分より)

97. 加藤正二 (京大理): 角運動量輸送と密度波の維持
98. 新見英幸 (京大工): 恒星系からの星間気体へのエネルギー輸送
99. 池内 了, 武田英徳, 佐藤 通, 佐藤文隆* (京大理, *京大基研): 銀河における元素の進化
100. 平林 久, 横井 寛*, 森本雅樹** (東大理, *国際電電, **東京天文台): 15 GHz での銀河バックグラウンド測定
101. 平林 久 (東大理): 銀河バックグラウンド輻射と銀河内の熱電子
102. 上条文夫, 中田好一, 井口哲夫, 藤本真克, 高田昌英, 高木重彰 (東大理): 星間ダスト生成に関する室内実験
103. 関 宗蔵 (東北大理): 中・高銀緯における星間塵のサイズについて
104. 水野孝雄, 藤本光昭 (名大理): M51 の arm について
105. 作花一志, 岡祥三郎, 若松謙一 (京大理): Galaxies の中心域の構造 (III) NGC 4670
106. 田村真一, 土佐 誠 (東北大理): NGC 4594 の中心核の分光観測
107. 外山清高, 西村雅樹, 兼古 昇 (北大理): 銀河核 (VI) M87 Jet の輻射エネルギー分布

108. 土佐 誠, 加藤隆子* (東北大理, *名大理): Intergalactic matter の accretion と Soft X-ray background
 109. 海部宣男, 近田義広, 森本雅樹*, 赤羽賢司* (東大理, *東京天文台): 6メートル・ミリ波望遠鏡 (IV)
 110. 長根 潔, 宮沢敬輔, 宮地竹史, 海部宣男* (東京天文台, *東大理): Ori A の 70 GHz 連続波観測

〔午後〕 (1時より)

111. 田原博人, D. Morris, 川尻轟大*, 昆野正博** (東京天文台, *電波研鹿島, **京大理): 7.2cmでの電波源の直線偏波の観測
 112. D. Morris, 田原博人 (東京天文台): 電波源の Depolarization
 113. 福井 満, 川尻轟大*, 河野宣之*, 井上 允 (名大理, *電波研鹿島): Radio source の polarization の観測
 114. 大師堂経明, 田原博人*, 川尻轟大**, 尾嶋武之**, 河野宣之** (東大理, *東京天文台, **電波研鹿島): Radio sources の時間変化の観測 (III)
 115. 森本雅樹, Y. L. Chow* (東京天文台, *カナダ・ウォータールー大): 二次元アレイ干渉計の位相較正について
 116. 平林 久, 森本雅樹* (東大理, *東京天文台): 超合成アレイの数値実験
 117. 笹尾哲夫 (東大理): 乱流媒質における密度ゆらぎの形成
 118. 近藤正明 (東大教養): Fragmentation での質量分布について
 119. 富田憲二 (広大理論研): 宇宙膨張の初期における不規則運動
 120. 田辺健茲, 富田憲二, 成相秀一 (広大理論研): 膨張宇宙における流体力学的不安定性
 121. 久保守正 (日本天文学会): 宇宙モデルの一つの分類
 122. 杉本大一郎 (東大教養): 藤井の重力と白色矮星の質量・半径関係
 123. 荒井賢三 (東北大理): 銀河系外宇宙線について

学会だより

松永賞受賞候補者推薦について

松永記念科学振興財団より, 下記要項にしたがって, 松永賞受賞候補者を推薦されたい旨の依頼が学会あてにありました。適当な方がありましたら, 学会庶務理事あてに御連絡下さいませようお願い致します(5月末まで)。

記 (昭和47年度松永賞贈呈実施要項抜萃)

1. 本年度の当財団の科学研究に対する褒賞「松永賞」は, 自然科学 (理学・工学系) の分野における基礎的研究で, 学術上業績が顕著であると認められるものを対象とするが, 個人的研究でも, 共同研究でもさしつかえない。
2. 「松永賞」の対象者は大学に在職し, 昭和2年12月1日以後誕生の少壮有為な科学者中から求める。
3. 「松永賞」は1口100万円とし, 本年度は3名以内を予定する。

天文学会定款改訂の理事会案作製の経過について

昨46年春季年会での申し合わせ¹⁾により, 理事会は, 運営検討委員会の答申定款案に対する修正案²⁾を集め, 秋の年会でそれらを会員の検討にかけた。その上で理事会原案を作る作業は, 海野・牧田・大谷の三理事によっ

て進められ³⁾, 47年2月の理事会でその試案が提示, 討議された。その結果はなお一致に至らなかったため, さらに海野・大谷・高瀬 (牧田入院のため交代) の三理事が作業を続けた上, 4月の理事会での検討, 調整を経て, ほぼつぎのような理事会案の骨子がまとまった。

1. 会員構成 (名誉会員・賛助会員以外) は, 特別会員A, 特別会員Bおよび通常会員とする。特別会員Aは欧文報告と天文月報, 特別会員Bと通常会員は天文月報の配布をうける。
2. 評議員の選出は特別会員の互選 (ただし自薦・他薦も可) とし, 特別会員Aより選出される評議員数は, その総数の2/3以上とする。
3. 必要があれば, 問題別に担当評議員をおくことができる。
4. 会員種類別の年間会費 (細則事項) は, 学会の財政を考慮して今後の検討調整を要するが, つぎの案を一応の目安とする。

特別会員A 5,500円

特別会員B 2,500円

通常会員 1,800円

- 1) 天文月報46年6月号167頁, 2) 同46年10月号281頁, 3) 同46年12月号338頁。

(庶務理事 高瀬文志郎)